

病理検査学Ⅰ

Pathological ExaminationⅠ

生命：L1-36311MS

医療科目 3年／前期 2単位 選択必修科目

科目責任者 富安 聡(非常勤講師)

■教育目的

病理医による正確な病理組織診断には臨床検査技師による質の高い標本作製技術が不可欠であることを説明する。講義を通して病理組織標本作製過程(固定、包埋、薄切、染色)の基礎を学ぶ。また、HE染色標本による各組織の構造を学習し、各疾患の鑑別や確定診断に必要な特殊染色や免疫組織化学染色の必要性について総合的な理解を目指す。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-① SD-② SD-③】

■学習到達目標

1. 病理学的検査の意義や重要性を理解し、標本作製過程を説明できる(知識、技能)
2. 各種固定法や脱灰法について理解し、説明できる(知識、技能)
3. 病理組織標本の基本となる HE 染色について理解し、各組織の構造を説明できる(知識、技能)
4. 各種特殊染色の必要性や電子顕微鏡標本作製法について説明できる(知識、技能)
5. 病理解剖に関する規則および臨床検査技師の役割を説明できる(知識、技能)

■準備学習（予習・復習）

予習：教科書・参考書の記載に目を通しておくこと(30分以上)

復習：授業資料を再視聴し授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分でノートをまとめる(10分)。過去の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと(10分)。

■授業形態

講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	病理学的検査の意義と概要、病理組織標本作製の流れ①	病理学的検査の意義と概要、切り出し、固定法	
2	病理組織標本作製の流れ②	脱脂法、脱灰法、パラフィン置換、パラフィン包埋法、薄切法、凍結切片標本作製法	
3	染色法概要、一般染色法、正常組織像①	染色法概要、HE染色、組織総論	
4	正常組織像②	筋組織、循環器系、消化器系①	
5	正常組織像③	消化器系②	
6	正常組織像④	呼吸器系、泌尿器系	
7	正常組織像⑤	リンパ系、内分泌系	
8	正常組織像⑥	生殖器系	
9	正常組織像⑦	外皮組織、神経組織、特殊感覚器系	
10	特殊染色法①	特殊染色総論、結合組織の染色法、多糖類の染色法	
11	特殊染色法②	腎糸球体基底膜の染色法、脂質の染色法、核酸の染色法、アミロイドの染色法、線維素の染色法	
12	特殊染色法③	生体内色素の染色法組織内病原体の染色法、内分泌細胞の染色法、組織中の無機物質の染色法	
13	特殊染色法④	神経組織の染色法、酵素組織化学染色法、免疫組織化学染色	
14	特殊染色法⑤、電子顕微鏡標本作製法、病理解剖、病理学的検査業務の管理	遺伝子の染色法、電子顕微鏡標本作製法、病理解剖、病理学的検査業務の管理	
15	国家試験対策	国家試験問題の実践・解説	

■授業分担者

富安 聡(非常勤講師)(No.1～15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題 100%(課題提出をもって出席確認を行う。課題内容にて成績評価する。)

■教科書

「最新 臨床検査学講座 病理学/病理検査学」松原修、鴨志田伸吾、大河戸光章、小松京子、古田則行 著(医歯薬出版)

■参考書

講義資料

「染色法のすべて」水口國雄 編 (医歯薬出版)、

「diFiore 人体組織図譜原書第 11 版」相磯貞和 訳 (南江堂)、

「正常画像と比べてわかる病理アトラス 改訂版」下 正宗、長嶋洋治 編 (羊土社)